〔大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可〕

新京日日新聞
夕刊
十一月三日
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行　壹圓五拾錢　特別一行　貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話｛編輯部專用三－二一五　營業部專用三－二〇〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

菊花薰る・明治節日和
瑞祥に滿つる國都
英帝の鴻業を偲び奉りて
北滿に溢るゝ讃歌

奉祝・明治節

允文允武の聖天子明治大帝が、內回天の鴻業を確立させ給ひ、外先進諸邦に向つて新日本誕生の提唱を體現し給ひてより、歲を重ねて六十有九年、見よ！今や我が靑年日本の姿は靈峰富士と共に聳え、さし昇る旭日と覇を競ひつゝ宇內萬邦の驚異を後にして躍進に次ぐ躍進を重ね、今や先進を凌いで文明の先端に立ち、駸々乎として止まる所を知らざるの驥足を伸して名實共に東亞の盟主となり、世界輿輪の支配者たるの隆々を示してゐるこの時、昭和十年十一月三日の、聖帝奉祝節を迎へたのであるがこゝ滿洲國々都新京は昨日來の陰天拭つた如くに霽れ渡り、まさに秋空一碧の小春日和、瑞兆天地に滿ち〳〵、馥郁の菊花は今日の欣喜に無心の讃歌をあげて咲き誇り、彌榮の昭和の聖代を仰ぐ我等市民はけふの佳節を迎へて、大帝の御聖德を偲び奉り、けふ一日街中は老幼男女を擧げて歡喜と感激の渦の中にひたつた

聖德をたゝへ奉る
盛んなる奉祝式
參拜者で賑ふ新京神社

この日新京神社では午前八時から嚴かなる祭典についで獻詠選歌の獻詠祭が執り行はれ同八時三十分から神社境內で市民奉祝式が擧行されたが早朝來同神社への參拜者引きも切らず、やがて參列者千余名肅然と襟を正す裡に定刻野村滿鐵社會主事司會の下に式を開き植村神官によつて修祓があり、國旗掲揚と同時に一同國歌合唱、この間京商バンドの演奏によつて一層感激の新たなるものあつたが、國旗掲揚終るや一同旭日輝く遙か東方に向つて明治神宮並に皇居を遙拜し、終つて武田敎化聯盟委員長によつて敎育勅語捧讀、引續き同委員長から謹んで明治大帝の御聖德を讃へ奉るの講話があり、吾等國民けふの佳節を迎へて、更に感激の新たなるものがあり一層御奉公を誓つて大帝の聖旨に副ひ奉らんことを冀ふものであると感激溢るゝ式辭を述べ、同九時式を終つたが、この頃より各學校生徒を始め一般市民の參拜がますます多く、神社はこれら參拜者で終日賑つた

寫眞說明
▲新京神社に於ける市民奉祝式
▲靑年訓練所及び少年團の閱團式（先頭武田敎化聯盟委員長）

日滿兩國の
萬歲を唱和
盛んな官民祝賀宴

新京總領事並に地方事務所長主催の官民合同祝賀宴は正午から記念公會堂で開催されたが、參會者は日滿顯官を始め四百餘名、一同着席のうへ川村總領事起つて明治節の祝辭を述べて開宴に入り、宴酣なる頃張國務總理の發聲で大日本帝國の萬歲を、また南軍司令官の發聲で大滿洲國の萬歲をそれ〳〵唱和して、和氣靄々盛況裡に同一時散會した

菊花展は
今夜九時まで

太子堂に於ける奉祝菊花展覽會は二日から開催されてゐるが、三日はさすがに觀覽者多數詰めかけ賑つた、三日午後九時を以て終了の豫定である

中央通を步武堂々
鮮かな大行進
靑年學校
少年團の閱兵分列式

新京神社境內に於ける市民奉祝式についで、靑年學校本科生並に新京少年團の閱兵分列式は午前九時五分から神社前中央通りで擧行されたが一同中央通西側に整列を終るや、この日の閱兵官武田地方事務所長は矢野、五十嵐兩少將、本田靑年學校長以下とゝもに靑年團から漸次閱兵を終り、再び起る喨々たる喇叭の音とゝもに靑年學校指導員下村少佐總指揮の下に步武堂々、分列行進が多數市民注視の裡にいとも鮮かに擧行され、式は約三十分で終了した

盛會を極めた
文献、刀劍兩展覽會

明治節奉祝文献圖書及び兒童作品展覽會は三日午前十時から新京神社前圖書館で開催され、各學校の作文、圖書五百餘點を始め明治大正時代の圖書、浮世繪、壁書など多數出展され會場は朝から兒童、生徒一般市民が押しかけ盛會を極めた、同時に中央ホテルにおける奉祝刀劍武具展覽會は奈良朝時代の古刀を始め實に稀な名刀、槍百餘點が陳列され式場には矢野少將を始め日滿武官文官一般愛刀家が大入滿員で同展は三日一日間の豫定であつたが特に稀代名刀劍の多かつたので一日日延べして明四日まで開催されるはず

登錄商標
日本一
本饅頭所
林氏鹽瀨
宮內省御菓子御用達
東京丸ノ內
鹽瀨總本家
店內喫茶部アリ
滿洲總本家
新京東一條通大和通り交叉點
電話六四八番

宮中三殿に於ける
明治節祭典

【東京國通】十一月三日は明治節の佳節、明治大帝の御鴻業を追慕し奉るこの日天皇陛下には畏れ多くも宮中三殿に於て明治節祭を行はせられ正午には豐明殿に出御、內外臣僚七百名を召されて御盛宴を催された

この朝賢所には宮內省勅奏任官總代參列、三條掌典長、立花掌典次長以下掌典部員奉仕莊嚴な神樂歌の奏樂裡に御扉を開き神饌幣物を供し、三條掌典長祝詞を奏すれば天皇陛下には御束帶黃櫨染御袍の御姿で午前十時出御內陣に御參進ついで皇靈殿、神殿に御親拜滯りなく尊き御祭典を終へさせられた

內外の文武百官參列
豐明殿の御宴

けふの佳き日の御祝宴に召された岡田首相以下各國務大臣、牧野內府、一木、平沼樞府正副議長以下勅任待遇以上の文武官並に伯子男爵、白國大使バツソンピエール氏以下各國大公使等は大禮服又は正裝で午前十一時過より二重橋正門から相次いで參內、式部官の誘導で設けの席に着けば正午、陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位の菊花章頸飾を御佩用、湯淺宮相、松平式部長官前行、鈴木侍從長、本庄武官長を從へさせられ高松宮殿下を始め奉り各皇族方扈從、シヤンデリアの光り輝く豐明殿に出御一同最敬禮中、玉音いと朗らかに內外臣僚に對して優渥なる勅語を賜ひ、之に對して岡田首相は群臣に代り、又外交團主席の白國大使バツソンピエール氏は列國使臣を代表して奉答文を捧讀、馥郁たる卓上の菊の薫りに和して佳節を壽ぐ太平樂、陪臚の妙なる旋律に歡興を添へて御饗宴に移り　陛下には親しく玉盞を傾けさせたまひ、一同も酒饌を拜受して御宴を終り　陛下には午後零時五十分諸員最敬禮裡に入御、引き續き光榮に輝く諸員も感激の面持深くそれぞれ宮城を退下した

講演會と
演劇の夕
今夜六時から
會堂で

奉祝講演會と演劇の夕はけふ三日午後六時から記念公會堂で開催されるが滿場立錐の餘地なき盛況の見込で、定刻主催者として武田敎聯委員長の開會の辭に始まり、入江宮內府次長および矢野少將の講演があり、新京高女生および西廣場小學校生徒によつて奉讃歌を合唱、ついでさきに發表された新京神社獻詠和歌五首を植村神職によつて朗詠、各初等學校代表一名宛の小學生作文朗讀あり、最後に新京藝術協會糸井一派總出演、演劇「明治の御代と乃木將軍」二幕を上演、午後十時閉會の豫定である

加藤大將に
花瓶を御下賜

【東京國通】二日附で豫備役となつた加藤寬治大將は二日午後一時參內し表御座所で　陛下に拜謁仰付けられ、現役中の御禮言上し　陛下よりは特に御慰勞の思召より御紋章入の銀花瓶一對と酒肴料を賜つた

◇日曜論壇◇
明治節を迎へて

けふは輝く明治節である、吾等はけふの佳き日を迎へて、明治大帝の御聖德を偲び奉り、感激また一入新たなるものがあるのである、申すも畏きこと乍ら、大帝は天資英邁不世出の聖天子に在はしまし、その御在世中吾々國民に下し給ふた御事蹟の數々は實に國民の一日として忘れることの出來ないものである、東洋の一小國日本が今や世界最强國の一つに數へられるに至つたのも、畏くも大帝のなみならぬ御苦心に依らせ給ふところ、吾等聖代に生を享くるもの齊しく、その聖恩に感泣せざるを得ないのである

明治から大正へ、大正から昭和へ、時去り世は移つたが、その間吾等の最大の誇りは實に纔みなき躍進日本の姿であつたが、その根源をたゞせば實に大帝の御事蹟にしかほかならないのである、今こゝに見る滿蒙の天地もいはゞ大帝の御遺產であらせられる、吾等こゝに安住の地を見出し、皇恩の無窮なるに尙更に一層の感激胸に迫るものがあるのである

吾等はいま萬國に類なき日本國民としての幸福をつく〴〵感ずる、同時に輝く新日本建設のために一段の刻苦奮鬪以て廣大無邊の聖恩に酬ひ奉らんことを只管冀ふのみである

米副大統領
一行昨日着滬

【上海二日發國通】米國ガーナー副大統領バーンズ下院議長一行は今朝入港のプレシデントグランド號にて着滬、ジヨンスン大使、カニンガム總領事に迎へられ午前九時上陸キヤセイホテルに落着いた、尙四日朱明當地出帆マニラに向ふ筈である

海軍辭令

【東京國通】二日附で海軍省より次の辭令が發せられた
軍事參議官大將　加藤寬治
被仰付豫備役
軍事參議官大將　山本英輔
兼補技術會議員

人事往來

▲羽根田又一氏（滿洲國官吏）二日午後來京國都ホテル
▲東喜代松氏（辯護士）同
▲河島常松氏（滿洲國官吏）同
▲石川忠三郎氏（同）同
▲深田盛次氏（深田合名會社員）同
▲張公麒氏（滿洲ラヂオ普及株式會社）同
▲松南宏光氏（松南合名株式會社）同
▲小林悌一郎氏（富士電氣株式會社）同午前來京同
▲宮澤總務部長（滿鐵）二日午後大連へ
▲孫其昌氏（財政部大臣）同歸京
▲長谷川幸平氏（東京辯護士）二日午後來京名古屋ホテル
▲大堀新治氏（滿鐵社員）同
▲山之內靜夫氏（電々會社總裁）同
▲杉浦末郞氏（大連會社員）二日午後來京ヤマトホテル
▲三谷正藏氏（東京會社員）同
▲湯淺讓氏（大阪伸銅業）同
▲井上乙彥氏（電々總務部長）同
▲中田末廣氏（同技術部長）同

護國の兵士に捧ぐる 二高女生の純情
貯への馬車賃を出し合せて 討匪戰沒の勇士へ

貯への馬車錢を出し合せていまは護國の鬼と化せる勇士の靈前に花でも捧げて下さいと拾財一圓五十七錢を國防婦人會分會幹部に屆けたけなげな新京高等女學校二生徒の美擧ー、明治節の前日二日午後六時ごろ市內日本橋通り廿二番地みしまや吳服店主人明坂秀さんを訪れた新京高女制服の二女性がさも恥かしげに「貴女いりなさい……いや、貴女いつてよう」と顏を赤めてゐたがそのうち一人がポケットから茶色の封筒を取り出して「これはほんの少しばかりですけど私たち二人で出し合せたものです、これを憎い匪賊のため戰死された田部樣にお花でも贈つて下さい」といつた儘逃げるやうにして外へ出ていつた、不思議に思つた明坂秀さんは封筒を開いてみると五十錢銀貨二枚十錢五錢、一錢とり混ぜ一圓五十錢に、左の如き同封の手紙と三錢切手一枚が添へてあり同封の手紙を一讀した明坂さんは溫い〱淚さえ浮べて感激させられた▲手紙（原文の儘）

今朝新聞を見ました所次のやうに

> 敵陣に躍込み賊五名を刺す 天皇陛下萬歲を叫び敵彈を浴びて戰死

と書れてありましたので私達は息をこらして讀みました、このにくき賊を五名も殺し、御國の爲働いて下された事を私達は心から感謝致します、田部樣が戰死せられたと云ふ事は私達にとつても非常に殘念な事ですこのお金はほんたうに少しでお恥かしい事ですが私達のバザーの時のお金と馬車を利用しないで貯めたお金です、これを御國の爲に働いて下された田部樣にお花だけでも差上げて下さいませ、ほんたうに少いですけれど……

新京高女生徒二學年 大道 愛子 古市 敏子
鈴木○隊樣へ

この愛國心に燃へる彼女らの行爲こそは眞の大和魂の發露であるといたく感激した明坂さんは早速國防婦人會支部を經て通化駐屯の鈴木○隊長の手元へ同手紙と花代を贈る手續をとつた

なほ兩女學生は本社において探知したるに東二條通り五十五番地第二學年三組の大道愛子（一五）さんと市內入船町二丁目十七番地高山組方古市敏子（一五）さんの二人で、平素學校においても溫順な同クラスでも模範生徒とされてゐる仲良しの二人であつた

蔣作賓大使の 外交部長略々確定

【南京三日發國通】駐日大使蔣作賓氏は四日上海に到着直ちに南京に歸還の筈であるが同氏は愈々外交部長就任に確定したと解され兩三日中に發令の段取とみられる

汪氏遭難は 日支經濟に惡影響
―我財界の見解―

【東京國通】汪精衛氏の遭難に關し日本財界では左の如く觀測して居る

先般來上海標金爲替市場は崩落して居り且今回のテロ事件で政局不安を反映し混亂動搖が繼續しやうが、市場動搖に對しても何等の對策を講じ得ぬが目先政局安定如何で小康狀態も望み得やう、尙爲替不安で好轉の光につきつゝあつた對支貿易も阻害されて居たが今後一層阻害されて大打擊を受けるであらう、且支那の對日借款整理問題も比較的順調なる推移をみせて居たが今回の事件の直接目標が汪政權の打倒を目指し、且汪氏の對日策に不滿を持つ者が相當多く北支の形勢が異常の緊張裡に推移する折柄事態の發展如何によつては再び頓挫の懸念さへあり、兩國の經濟關係は樂觀を許さぬ樣になりつゝあり

上海爲替 大變動を見ん

【東京國通】南京テロ事件に關する經濟界の意向は左の如くである

上海爲替崩落の折テロ材料で大變動を爲すと見てゐるから、對支貿易は爲替同樣で一時阻まれる貿易額には打擊なからう、最近支那の對日借款が進捗して居り今回の事件で頓挫はすまい、事件の進展如何に依つては兩國經濟關係を監視するの要がある

神祭川縣 三崎の大火

【三崎國通】神奈川縣三崎浦郡三崎町雨合羽製造業平賀方より二日午後九時發火列風中に全半燒四十戶を出し十一時四十分鎭火した、損害十萬圓原因は合羽の油に引火した爲

日支防共協力拒否せば 軍は單獨行動へ
支那共產軍動向に注視

【東京國通】日支兩國共同して赤化を防止せんとする我提案に對し支那側は氣乘をみせず最近支那共產軍は四川に於て蔣介石麾下の中央軍と協定が出來たもの丶如く此の爲今後共產軍は察哈爾、綏遠外蒙新疆へ主力を進める方針に於て日本を牽制せんとの意思が觀取されるに至つたが蔣介石氏も此情勢を巧みに利用し共產軍をして北支方面に進出せしめ日滿側に脅威を與へんとして居るとの情報が入つたので支那共產軍の動向注視中の軍當局は此際北支に於て赤化防衛に日支協力して當らんことを希望してゐるが萬一支那が誠意を示さぬならば日滿兩國自衛上より軍としての獨自の行動を取らんとする決意を有する模樣である

皇后陛下の 御經過御順調

【東京國通】皇后陛下の御經過はその後も至極御順調で十一月は御姙娠第九ヶ月に進ませられ來る卅日第二の戌の吉日を選び閑院宮殿下が御帶親として御着帶式を擧げさせらるることゝなつた宮內省では十二月廿二、三日と拜される御慶事の御準備として 天皇陛下の大演習御發輦前に御準備の必要ありとして二日協議の結果來月五日から御警戒期に入ることになつた

蔘の家の 萬作ドロン

市內富士町二丁目料亭蔘の家抱へ原籍兵庫縣加東郡市場村生れ藝妓萬作こと久保田政江（二〇）は三日午前八時ごろ友人とゝもに着物十餘枚入質すべく外出し五十圓を借用して歸路友人と別れた儘行方不明となつた、同妓はかねて四平街建設事務所勤務と稱する德永岩一（二九）と關係あり德永は最近萬作を請出すといつており德永もその日は長春旅館に止宿してゐた模樣で多分二人しめし合せて逃走したものといはれてゐる

强精法に 命を賭けた男

本籍奉天省鐵嶺縣生れ錢兆勤（二六）は二日來京所々見物し同日午後九時頃市內吉野町四丁目支那料理店蓮香班に繰返み同樓抱へ妓女月方（二一）を揚げて遊興三號室で共に就寢中三日午前三時頃錢が苦悶してゐるのを月方が發見大騷ぎとなり直ちに康生醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが遂に絕命した、原因につき取調べると錢は性來遊蕩兒で猛烈な性病を患ひ性交不能に陷り當夜も目的を達し得ず妓女より阿片を嚥下すれば大丈夫だと勸められ阿片を嚥下したが適量を過り遂に絕命したものと判明死體は取りあへず商務會に引渡された

六中全會開會さる 憲法草案上程
審議會組織に決定

【南京三日發國通】六中全會は二日午前九時から第一次大會を開いた、出席委員は蔣介石、孫科、何應欽、戴天仇、陳果夫、葉楚傖氏等百四名で先づ立法、司法、行政、監察考試五院並に黨部の一ヶ年間の工作報告に次ぎ議案の審議に入り民國憲法草案を上程したが李烈鈞、邵元沖、張群三委員の意見發表後中華民國憲法草案審議會を組織して審議せしむる事となり居正、張繼、孫科の三氏が召集人に、許崇智、陳立夫氏以下五十八名が委員に推擧された

伊への制裁發動 今月十八日と決定

（ジュネーヴ二日發國通）イタリー政府に對する聯盟の制裁發動の期日は十一月十八日と決定した

防護講演と實地演習 明日商業學校で
防護團幹部約四百名參加

近づく十二日

新京市燈火管制演習は來る十二日を期し市內全般に亘り大々的に擧行されるがこれに先立ち新京聯合防護團では演習前における防護團任務の豫備智識を與へるため、四日午後四時より新京商業學校において防空協會高木主事の講演會を開催することになつた、當日は防護團警報班、交通整理班は全員、その他の各班は副班長以上約四百名が參集することになつてゐるが講演が終ると新京警察署、電業局の後援を得て校庭附近において實地豫行演習を行ふ、

六日空襲豫行演習

ことになつてゐる、尙これに引續いて六日午後六時よりは五分間に亘り空襲豫行演習が行はれることになつてゐる

嚴寒期を惱ます 石炭檢査施行
怪しげな行商人等も御注意

嚴寒期を控へ目下多眠用の石炭が盛んに運搬され馬車の拂底から注文品は兩三日後でなくては現品が到着せぬといふ鹽梅であるが例年石炭の運搬は貯炭場から注文先に屆けられるまでに量目が減つてゐたり石塊其他夾雜物が這入つてゐたりして警察に屆けられる件數は枚擧に遑ないので取締當局は近く一齊に量目檢査を行ひ徹底的取締りを嚴にする筈であるが、此の外お札賣り許可證を所持せぬ毛皮賣り野菜屋等についても嚴重取締る筈であるから各家庭では擧動不審不正品等を發見の場合は早刻最寄の派出所、又は本署に屆け出るとよい

今晩の主なる放送番組

▲六・三〇 明治節奉祝の夕（一）講演（二）奉讃歌奉唱（三）奉祝和歌朗詠（四）小學生作文朗讀―新京記念公會堂中繼▲七・五〇俚謠御船唄（新潟）▲八・〇〇新講談由利公正の功績（東京）伊藤痴遊

中島芳松氏逝く

東一條通甘泉堂中島芳松氏は豫て病氣にて奉天大學病院へ入院加療中の處十月三十一日午後十時死去した、告別式は四日午後三時自宅出棺高野山金剛寺に於て執行される

仙人掌

奉天に行つて來た、前にナナにゐた清ちやんが奉天で評判のウッポで靑い水兵服を着て十六歲位に見える格好で元氣でやつてゐた、彼女氏に聞けばカホルさんは今北鮮に旅行中だが何れ新京に歸るでせうとのこと、これら活達な落語の名人を失つちや新京些か淋しいよ▲前にキャピタルにゐたことのある富永種子君は、「明星」でこれも元氣に踊つてゐる「あたしもう一生結婚しないわ、文藝の仕事をけんめいにやるわ」てな話

滿鐵 婦人社員 傷病兵慰問

滿鐵作興週間に於ける滿鐵婦人社員四十五名は二日午後二時衞戍病院に傷病兵を慰問した

日曜漫筆 "あじあ"車上 會話抄

時 きのふ十一月二日
所 北行特急"あじあ"二等車の片隅
人 新京信太郎氏 大連聞太郎氏 北平客太郎氏 奉天滿太郎氏

北平氏 よう、何處へ？
大連氏 やあ、何處へ？
新京氏 ほう、何處へ？
（といふ如き會話のあと）

× ×

新京氏 どうです、北支は？
北平氏 僕は、Ｉ理事と一緒に飛行機で二十九日に周水子に一路飛んで來たばかりだけど、何しろ近頃は「客引き」商賣が忙しくてね。
大連氏 おい、近々僕も行くからな。
新京氏 ふん、僕らも新京でそいつをやらされたが、今度はあんたが忙しくなつたんぢやな。
北平氏 にいつ氣苦勞ばかりで骨が折れるよ。大した效果もないくせにね。くだらん連中が多いしね。
大連氏 ふふん。おい、新京君、弘報協會ちふのが出來たそうだな。
新京氏 この間僕はラヂオのニュースで聞いたよ。……若干の變化はあるらしいな
大連氏 大連ぢや少々動搖しとるぜ。
北平氏 コーホー協會つて弓篇の弘報ですか？
大連氏 そうぢや。思へば滿鐵でこさへた昭和三年頃の文字ぢやぜ「弘報」つて文字は高柳將軍がこさへたんぢや。當時、松岡副總裁の頃で、情報課ちふものが出來てね。
新京氏 「弘報」は滿洲國に行くと「宣化」になつたものだと僕は考へてゐたんだが。
大連氏 協和會ではこれを、「宣德達情」と言ふとんね
北平氏 僕にはわからんか若し滿洲ジャーナリズムに現在以上に「統制」つてものを行ふのだつたら、先づ書ぶのは內地一流紙でせうな
大連氏 計算上そういふ事になるよ。だから、僕のやつとる社會經濟學から言へばどうしたつて結局は本質的には資本家的統制といふ性向に傾くんぢやないかなと思ふのだ。一時それは擬裝されてゐるかも知れんが、現代社會に於いて、結局は金が物を言ふんぢやからね
新京氏 さういふことも言へるだらうなあ。……ぼくには判らん。將來のことはわからん。ぼくは近頃、さきの事をめつたに豫測はしないことにしてるよ。その日〱の仕事をまじめにけんめいにやつとるんだ。それでいいと思つとるんだ。
北平氏 時に、南京は騷動ぢやないか。

× ×

（奉天で奉天氏加はる「よう」「よう」といふ挨拶のあと）
大連氏 君も新京行きか？
奉天氏 いやけふは私用だが
新京氏 新ニュースありや？
奉天氏 一寸聞いたよ。まあしかし、なんとかなるだらう。Ａは信念を吐露した。Ｂは金儲け主義を告白した。Ｃは資金局の大局論を述べた。……てな事ぢやつたそうだ。僕たちとしては頑張るばかりだ。少くとも、長い歷史を、僕たちの奮鬪によつて得て來た滿人の信用つてものを知つてくれと言ひたいよ。
大連氏 そうだね。……そうなると名前も變へられん。
新京氏 そうさ。歷史を無視することは出來ん。信用を無視することも出來ん。要するに、われわれはわれわれの職分を守つて努力して來たんだ、現在も努力してるんだ。斯う信念を持ちたい。一言一句、ぼくは討ち死の覺悟で書いてゐるんだ。
大連氏 時には摩擦もある。曇り日もある。それが人間社會の現實さ。
奉天氏 奉天にゐる或る先生が「光は新京より」てな事になつて來たなといつたよ。
新京氏 「光は新京より」か。僕は言ひたいね。明るい光を燃すために、われらの國都でいい空氣をつくりたいと。僕は叫ぶ、眞に日、滿人の文化的協働を效果あらしめるやうな、そういふ環境をつくりたいと。……兎に角僕は新京でけんめいにやるつもりだ。新京は、長春時代からの、僕の故郷なんだからね。そして、かりにはあるにしても、日本のために、また滿洲國のために若干の政治的見解の相違と、眞劍に考へ且つ努力してる共氣持は理解して貰ひたいよ。（Ｃ・Ｃ・Ｃ）

天氣と氣溫

明日の天氣 西の風晴後曇
日の出 午前六時十八分
日の入 午後四時二十六分
月の出 午後〇時五十分
月の入 午後時十二二十三分
けふの氣溫 最高 十五度七 最低 五度

あすの番組

四日（月曜）（M・T・C・Y 新京放送局）

（朝）
六、三〇 建國體操（滿語）
六、五〇 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 入港船の御知らせ 氣象通報（大連）
七、一五 初等滿語講座 講師 秩父固太郎
七、四〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏（奉天）
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 乳兒に與へる果汁と野菜スープ 赤塚久子
一〇、二五 家庭めも
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京引續き新京）
〇、〇一 經濟市況（大連引續き新京）

（晝）
〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝（哈爾濱） 清唱 法場換子 劉志遠 唱 胡琴 高貴停 月琴 李秀山 鼓 陳慶元
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、二〇 引續き 日用品値段（滿語）
成人講座 道德事業與王道政治的關係（一） 萬國道德會滿洲總會 文書科主任 白蔭五
二、四〇 下午演奏（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語） 引續き 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（哈爾濱） 唱歌と童話 哈爾濱馬家溝兩級小學校 指導 李少慧 沈王賢 王亞惠 外七名
（一）唱歌 燕雙飛 外五曲
（二）童話 （イ）王孝女 安茂 （ロ）進取或競走 倚連第

（夜）
五、二〇 コドモの新聞（東京） 關屋五十二
五、二五 氣象通報・番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組 官廳公示

六、二五 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間（滿語）
七、〇〇 二絃琴（東京） 藤舍蘆船 外
七、二〇 浪花節（東京） 倉橋傳助 蛟龍齋青雲
七、五〇 歌謠物語（東京） 薄暮の唄 松島詩子
八、三〇 時報・ニュース（東京） 引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇（哈爾濱） 鳥龍院 唱 傳益祥 呂升三 李月識 場面 于恒濱 外五名
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

新效果をねらつた 歌謠物語「薄暮の歌」 大木惇夫さんの抒情の一文

〈後七・五〇 東京より〉

出演 長岡輝子 松島詩子

久し振りの歌謠物語は、今度はぐつと新らしくいつて、抒情詩人大木惇夫氏に依囑し、物語も中で歌ふ歌も共に作者自身の執筆にかゝるものといふところに、此一篇の興味と强味がある。物語る長岡輝子さんは、テアトル・コメディーの花形女優またフランス踊りのインテリとして、新らしいフランス作家の戯曲をぞくぞくと譯し、しかも、時々は演出もするといつた聰明な女性伴奏も特に、絃樂四重奏として、小ぢんまりとした中に抑つて新らしい效果をねらつたものである。【寫眞松島詩子さん（上）と長岡輝子（下）さん】

◇……◇

若く美しいみを子の家はとある山間の温泉宿でありました。半年前この宿にふと泊つてゐた新進音樂家の久我は、旅人のゆきずりの戯れから、みを子の瞳をほめ東京へくれば必らず一人前の音樂家にすると言ひました。みを子若い處女の身として、戀しい人のこの甘美な言葉はたゞ戯むれとして忘れ去ることは出來なかつた。みを子は久我が去つてからも、よく、丘に出て、久我に敎はつた歌をうたひました。

「君こそはわが望み、わがあこがれなつかしき山のかなたの、青空に光はみちて返りくる胸のこだまよ。……」

×

みを子はとうたう東京へ出て來ました。が久我の妻は心の優しい摩耶それはその筋からも注意されてゐるやうな「裏町の女」なのですみを子は丸の内の食堂に職を得ました。或日、食堂に久我の第一回のコンサートのポスターがかゝつてゐたみを子は夢かとばかり久我を訪れました。が、久我は停車場へ現はれませんでした。やつと、尋ねあぐんで阿佐ケ谷の一隅に久我の家を尋ねあてると、斜めに貼られた貸家札茫然としてゐると、そこにダンサアの摩耶が通りかゝり親切にみを子を家につれていきました

少し上京は遲かつた自分は義理である女と結婚しなければならぬ。しかし、必らず、將來を待て、三年待つてくれたら、きつと幸福にしますとみを子に言ふのでした。みを子は歸つて摩耶に話すと摩耶は始めて秘密を打明けたのです。それには、久我は嘗つて、摩耶と愛し合つて同棲までした仲だつたのです。があてにならない男の心摩耶のからした不幸な生活もこんなことが原因なのでした。かはいそうに摩耶はもう、胸の病で命は旦夕に迫つてゐました。久我はある富裕な未亡人と結婚しました。ある日白い包をもつて、再び、故郷へ歸るべく停車場に立つていました。白い包は摩耶の遺骨なのです。

「君こそはわが悩み、わがわづらひ、オレンヂの花は咲けども、君ゆえに涙しげしと、香はしき風よ、傳へよ……」

蛟龍齋青雲さんの 倉橋傳助

後七時二十分よりの浪花節

……蛟龍齋青雲さん

實に人生は朝露の如し、月に醉ひ花に戯れ、華奢風流に浮世を渡ればとて、人間一生五十年の身、所詮不死長老の術を得て、千年の齡待つこと思ひもよらず。果敢ない露の玉の緒を、持つて生れた人間か、長い此世に名を殘す。

三番町の旗本で三千石取の大和流弓術の名人長谷川丹後守の次男金次郎は不圖した事から女に迷ひ、擧句の果、親に合せる顏かないと吾妻橋から身を投げやうとする。通りかかつた下郎の八助が抱きとめ木更津に貴方に乳をのませた乳母のお豐といふものが居る筈だから、勘當の許されるまでそこに落着いてはと船賃を渡す。金次郎は木更津に來たものの、お豐とだけで住所が判らず、床屋傳吉に訊ねる、それが緣となつて厄介になり、漸く探し當てるとお豐は三年前に死んだとの事、止むを得ず傳吉の家で髮結を習つて、近隣の人々に可愛がれてゐた足掛四年を經た或日、傳吉と兄弟分の、鐵砲洲は淺野侯足輕口入元締の萬屋久右衛門が來て、四方山の話の末か、生涯髮結でもあるまい、御術足輕になつたらといはれ、金次郎は名を倉橋傳助と改め、傳吉に千萬の恩を謝して淺野侯に仕へる事になる後、弓術腕競べの折手並を現して馬廻りに出世し、親子久方振りに再會するといふ一節。

後七時よりの 二絃琴

東京 藤舍芦春・外

一、芦刈

「津の國の浪花の浦の夕げしき風にもまるゝ芦の葉のザワザワザワとおとにきく伊勢の濱人荻といひ、浪華の浦人あしといふそのあしかりぞむかし妻（合）あしとよしとはうらおもて、よからんとてぞわかれにし、さりとてはうき人よ烏帽子直垂まゐらせむ、露もますげの笠ぬぎて、あし芦刈きぬとかへて召せやがて都にともなひて、共に浪花の昔かたらむ

二、三津之綾

「六根淸淨心にもろもろの不淨をおもひて、意にもろもろの不淨をおもわず、其時にきよく、いさぎよき事なり、そんなくぜつはよし原の、里たそがれて入相のかねに、はなさぬひもやふいろうちかけも春風に、なびくすがたの八文字、見世すがゝきに引よせられてまだみかへりの柳だる酒と色とのなかだちに立まふ袖も糸竹のしらべに添えて（合）おどり地の、たいこまつ間もちりからの、二挺つゞみも五丁の町にひゞきわたりし全盛は人のこゝろにうつれども風にはそまぬ明德は無一物なるなかのたまもの

誰が殺したか

（上映）國枝史郎氏外二　龍造寺聰畫

一一七 第二の殺人 八七

『さうでした、そのことですよ僕はそのことが疑問で、それが何よりの解決の鍵と思つたものですから、につこりして、死體の笑つてゐるのを、どういふわけで笑つてゐるのか、たしかめようとしたのでした、さうでした、院長！』

『ところで、あの微笑から、君はどういふ風に考へるんだね？』

『私はですね、あの死顔してゐるのは、死ぬ前に或喜びを感じて浮べた物で、それが死後まで消えなかつたものだと思ひます』

『すると、自殺したといふことにはならないね！』

『院長！さうです！さうです！そこですよ！自分の手で死なうとして笑つてゐられる譯はない

『それは、下手人だつたら、あくまでもかくすだらう、が、なぜあの死體を持つて隱れたのかそれは、確に疑問だね、併し水谷君、その疑問を解くにはなぜ殺す必要があつたのか？といふ處から、考へてこなければいけないね』

『さうですね、兎に角、令嬢とは親しかつた許ではなく、令嬢が咲山を戀してゐた形跡があるし、あの死體が發見される三四日前に咲山が訪問してゐるんだし……さてなぜ、殺さなければならなかつたか？……さうですね、さうだ、院長！それは、令嬢に戀されて、らしいのですから、それで詰り、あの通り妹と、醜關係があつた富枝子といふ者が邪魔になつて殺害したんぢやないでせうかね』

『さうだね、その考へも、あたつてゐる譯にも思ふがね……まだのですからね、夫が又、あんなに無むな笑ひですからね』

一すると、本人の意識してゐない内に、石のやうにされたといふことになるね！』

『院長！成程、さう考へてきますと、その意識してゐないうちに石のやうな、死體にしてしまつた者が他にある譯ですね！』

『さう云ふ事になつてくるね』

『かうなつてくると、愈々咲山は、奇怪な人物に眼はれてきますどうも、あの男が、なんかの方法で、令嬢を殺して、化石の樣にしてしまつたんぢやないですか？』

『うむ、そこだ、さういふ疑ひがもてるからこそ、水谷君！君にこの探偵を命令したのだよ』

『いや、有難うござゐます、すると、あの咲山は、なんらかの方法で人體を化石の樣な死體にしてしまふことをしつてるんですね』

『さういふ風に考へられるね』

『すると、又なぜ、あの死體を持てかくれたのか？またなぜその方法を應用してゐたのでせう？』

どうも、疑問の餘地があるね、もし、さうだとすれば、妹の方と手をきらうとする理由がないからね、しかも、自分の殺した、そのいはゞ邪魔な死體を持出して、身をかくす必要はないからね』

『さうおつしやられると、そんな疑問もわいてきますね』

『處で、隱家はどうだね？』

『それは、荷物を運んだトラック等で調べたが、吉祥寺迄運んだことは判りましたが、それから、どこへ持こんだかわかりません』

『それぢや、武藏野のうちにはどこかに潜伏してゐるね』

『たしかにさうです』

『ぢやアひとつ君は、武藏野を隅から隅まで探してみるんだね、これは、稀代な、殺人鬼を發見することになるかも知れんぞ！水谷君、しつかりやり給へ！』

『さうです、稀代な殺人鬼！』

水谷も思はず、それに應じた。はたして、咲山醫學士は、殺人鬼だらうか……？

（この篇今野賢三作）

居住消息

轉居

▲大矢好貴氏（熊本縣）四平街から花園町二丁目一番地十五號ノ一へ
▲下柳三平氏（佐賀縣）東二條通り五十八番地へ
▲芦谷金作氏東五條通りから祝町五丁目十四番地ノ二へ
▲中村末作氏日出町から永樂町三丁目二十番地へ

出生

▲西ヶ谷慶作氏（三笠町七丁目二番地）次女靜香さん二十六日出生
▲堀亭次氏（三笠町二丁目十三番地）長男靖夫さん二十二日出生
▲篠原榮氏（彌生町一丁目二番地）次女弓枝さん二十四日出生
▲高橋喜久次氏（曙町二丁目二十六番地）六女喜代子さん二十一日

死亡

▲掛上寅一氏（室町二丁目七番地）男康生さん三十一日午後八時四十分死亡
▲豐島美代子さん（曙町一丁目）二日午前一時三分死亡

月曜 甲申 赤口 開 畢宿　十一月四日 舊九月九日

●一白の人　思ふ所達せずとて焦れば猶更不利に陷る日　丁と庚と辛が吉
●二黑の人　意志動搖し進退決せず遲々として得る無し　丙と庚と辛が吉
●三碧の人　目的は次第に成功の域に入る一攫千金は凶　乙と辛と癸が吉
●四綠の人　氣を落付け進路を過たざる樣注意するが吉　甲と庚と癸が吉
●五黃の人　目上の言葉に從ひて危地に飛込まぬ樣注意　丁と子と寅が吉
●六白の人　言動に依り他の反感を受け諸事停滯する日　甲と丙と丁が吉
●七赤の人　氣運良好といふ可らず諸事差控へるが安全　申と庚と丑が吉
●八白の人　地位に動搖を生ぜんとし不安に身を置く日　丁と壬と丑が吉
●九紫の人　分限を堅く守れば平安を保つべき氣運とす　丙と丁と癸が吉